



SKY Perfect JSAT
Holdings Inc.

株主通信

2012年3月期

2011年4月1日～2012年3月31日

さらなる成長をめざして



株式会社スカパーJSATホールディングス

株主の皆様へ



有料多チャンネル市場、
衛星通信市場ともに大きな環境変化を
さらなる成長機会ととらえ、
中期経営計画の早期達成を目指します。

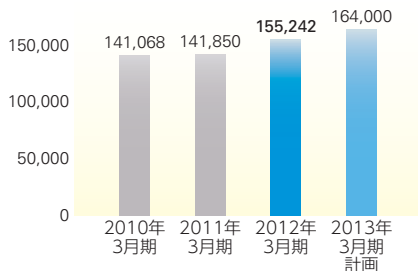
大きな環境変化をさらなる成長への足がかりに

2012年3月期は、大きな環境変化の中、中期経営計画達成への足固めをした期となりました。

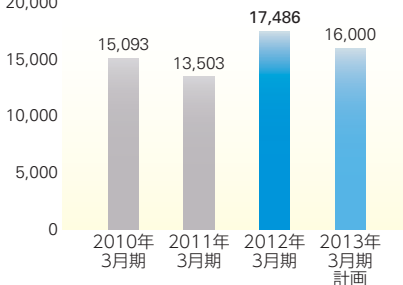
まず、有料多チャンネル事業では2011年7月の地上アナログ放送終了とともに、地上デジタル放送と東経110度衛星によるBS、CS放送の3波デジタルチューナー内蔵テレビがほぼ全世帯に普及しました。さらに2011年10月から新BSチャンネルの放送が開始され、私たちが多チャンネル放送の魅力をダイレクトに伝えられる機会が一気に拡大しました。このタイミングをとらえて、有料多チャンネル放送のショーケースになる「BSスカパー!」を開局するとともに、衛星アンテナと取付工事の無料提供やお試し視聴の拡大など販売促進活動を積極的に展開し、3サービス合計で過去最高の新規加入件数を獲得することができました。

また、宇宙・衛星事業では、東日本大震災からの復旧・復興フェーズにおける国内の企業・官公庁の衛星通信の一時的な需要増に応え、その後も防災対策や事業継続計画(BCP)が見直される中で、非常用通信手段として衛星通信サービスへの需要が急速に高まりました。

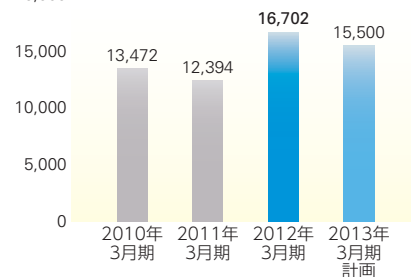
営業収益
(百万円)
200,000

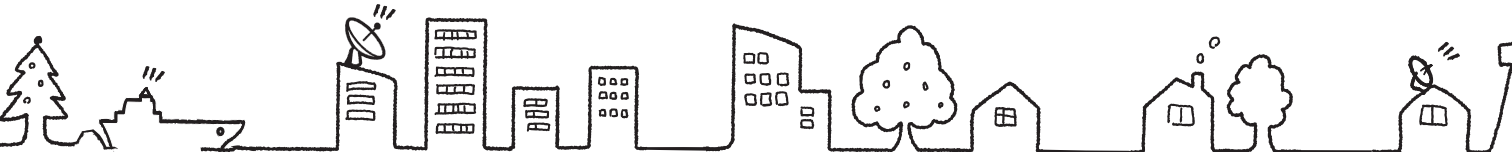


営業利益
(百万円)
20,000



経常利益
(百万円)
20,000





有料多チャンネルの販促費積極投入を吸収し、増益を達成

こうした中、連結ベースの営業収益は前期比9.4%増の155,242百万円となりました。利益面では、有料多チャンネル事業で積極投入した販売促進費を宇宙・衛星事業の収益などでカバーすることができ、営業利益は前期比29.5%増の17,486百万円、経常利益は同34.8%増の16,702百万円、当期純利益は同93.8%増の8,569百万円と、期初の計画を上回る成果をあげることができました。

株主の皆様への還元につきましては、安定配当方針を堅持し、期末配当を中間配当と同額の1株当たり600円、年間1,200円を予定しています。

成長戦略に軸足を置き、中期経営計画の早期達成を目指す

2013年3月期は、成長戦略に軸足を置いた経営を加速していきます。有料多チャンネル事業では、引き続きテレビ内蔵チューナーでみられる「スカパー!e2」を中心とした加入促進策を徹底的に推し進めるとともに、「スカパー!」サービスにおいては標準画質から高画質の「スカパー!HD」への移行促進を重点

課題として引き続き取り組みます。さらに、よりわかりやすいサービス体系の確立を目指すとともに、コスト構造の抜本改革にも取り組みます。また、より強力なコンテンツを継続的に提供し、コミュニケーション方法も刷新することでお客様との深い絆づくりを目指します。

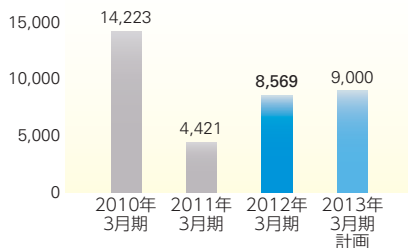
一方、宇宙・衛星事業では、震災後に急増した衛星通信需要の反動と2012年5月に打ち上げた「JCSAT-13」による償却負担増を見込んでいます。しかし、BCPおよび災害対策向け営業の深化を図るとともに、東南アジア向けビームを搭載した「JCSAT-13」などの営業活動や海外拠点の整備により、グローバル展開を加速していきます。

2013年3月期についても増収基調を維持しつつ、中期経営計画の早期実現を目指します。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

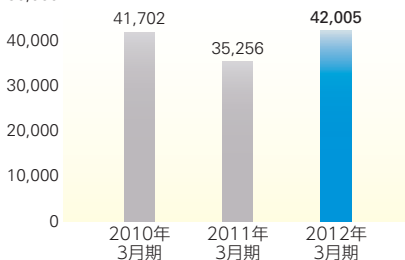
2012年6月
代表取締役社長

高田真治

当期純利益
(百万円)



EBITDA
(百万円)



中期経営計画グループ連結目標 (2015年度)

- 営業収益 2,000億円以上
- 営業利益 200億円以上
(営業利益率10%以上を確保)
- EBITDA 500億円以上

事業概況



有料多チャンネル事業

Multichannel
Pay-TV Business



日本最大のハイビジョンチャンネル数を誇る「スカパー!HD」、デジタルテレビで手軽に楽しめる「スカパー!e2」、アンテナ不要の「スカパー!光」の3サービスを通じて、多彩なコンテンツをお届けしています。

2011年10月には「BSスカパー!」(BS-241ch)も開局し、3サービス合計で加入件数400万件以上(2012年3月末現在381万件)の早期実現に取り組んでいます。

中期経営計画の重点施策と進捗状況

重点施策	成果・進捗状況
スカパー!e2を主軸とした新規加入拡大	● BS新チャンネル放送スタート ▶ 過去最高の新規加入獲得
スカパー!HD移行促進による顧客規模の維持	● 高ARPU加入者に向け受信機配布開始 ▶ さらに加速が必要
ネット・モバイルサービスの開発	● TV番組情報サービス「テレコ!」開始 ● 「スカパー!オンデマンド」開始
お客様視点でのマーケティング	● 各種販促キャンペーンの積極的展開 ● ロイヤルティ・プログラムの強化
コスト構造の抜本的な見直し	● カスタマーセンターの構造改革 ▶ 約10億円のコスト削減を実施



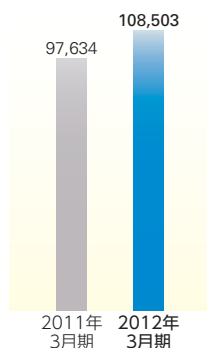
BSデジタル放送の開始により視聴可能世帯数が増加した「スカパー!e2」を中心に加入を伸ばし、新規加入件数が3サービス合計で過去最高の677,512件に達し、純増数は88,898件となりました。また、標準画質「スカパー!」からハイビジョン画質「スカパー!HD」への加入者移行も順調に進みました。その結果、有料多チャンネル事業の営業収益は、前期比11.1%増の108,503百万円となりましたが、「BSスカパー!」関連費用や、新規加入者獲得に向けた販促活動に伴う費用が増加し、1,636百万円の営業損失(前年同期は2,945百万円の営業損失)となりました。

加入の状況

	2011年3月期	2012年3月期
新規加入件数	58.0万件	67.8万件
スカパー!	9.3万件	7.5万件
スカパー!HD	6.8万件	6.5万件
スカパー!e2	46.3万件	57.1万件
スカパー!光	2.5万件	3.1万件
年次解約率	16.3%	17.9%
純増数	3.8万件	8.9万件
累計加入件数	372.5万件	381.4万件

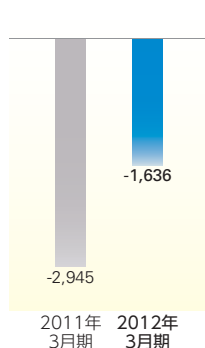
営業収益

(百万円)



営業損失

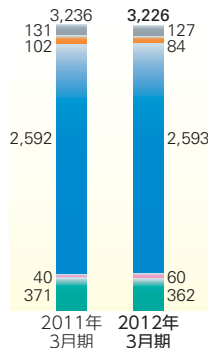
(百万円)



ARPU

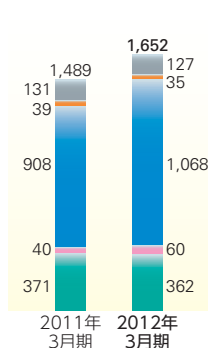
加入者支払単価*

(円)



ARPU*

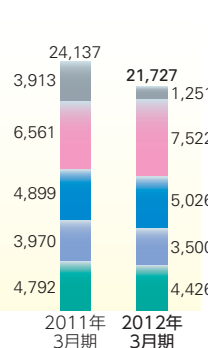
(円)



SAC

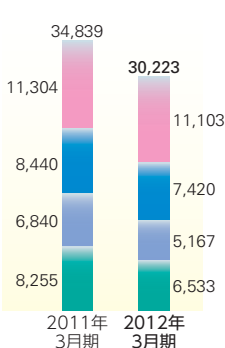
SAC総額*1

(百万円)



SAC単価*2

(円)



基本料 レンタル会費 フラット視聴料
PPV視聴料 自主コンテンツ収入

*従来の「Gross ARPU」を「加入者支払単価」、従来の「Net ARPU」をARPUとして表示(3サービスをまとめて算定)。基本料、レンタル会費、自主コンテンツ収入の加入者支払単価とARPUは同額。

その他 販売インセンティブ 販売促進費
広告宣伝費 無料コンテンツ費*2

*1 SAC総額の「無料コンテンツ費」は、2011年3月期はW杯関連、2012年3月期はBS番組制作費等。

*2 スカパー!/3サービスの合計。SAC単価は、新BS放送等の無料コンテンツ費を除いて算定。



宇宙・衛星事業 Space & Satellite Business



北米上空からインド洋上空まで計15機の衛星を保有し、グローバルな衛星通信サービスを提供しています。

国内では、災害対策やBCP(事業継続計画)に適したサービスの提案に注力しています。海外では、東南アジア向けビームを搭載した、16機目となる「JCSAT-13」の打ち上げと同時にジャカルタ駐在事務所を開設し、グローバル事業のさらなる拡大を目指しています。

中期経営計画の重点施策と進捗状況

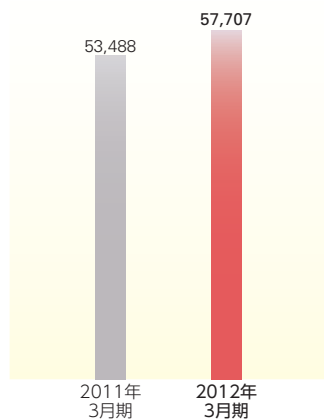
重点施策	成果・進捗状況
国内衛星ビジネスの基盤強化	● 震災後の一時的需要増に迅速に対応 ● BCP関連の新規顧客の開拓
海外衛星ビジネスの拡大	● Horizons-2をインド洋上に移動 ● JCSAT-13打ち上げ(2012年5月)
宇宙ビジネスの推進	● 政府系ミッションへの参入検討 ● オールジャパンでの衛星インフラの海外向け提案 ▶ 中長期的なテーマ
新規事業領域への積極展開	● クラウド・ストレージサービス提供拡大 ▶ 専門部署の新設、体制強化
コスト構造の抜本的な見直し	● 衛星管制・サービスの集約・効率化 ▶ 統合時点から約20%の管制コスト削減



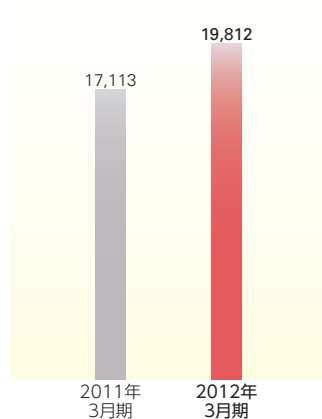
東日本大震災発生後、非常用通信手段の確保やBCPの構築を目的とした衛星通信の需要が急増しました。その結果、宇宙・衛星事業の営業収益は前期比7.9%増の57,707百万円、営業利益は同15.8%増の19,812百万円となりました。

衛星運用の面では、ロシアとその周辺地域の需要に対応するため、西経74度の軌道位置で北米・カリブ海をカバーしていた「Horizons-2」を東経85度に移動しました。また、2011年8月に(株)放送衛星システム(B-SAT)と共同で「JCSAT-110R」(「スカパー!e2」サービスのバックアップ衛星)を打ち上げ、9月より運用を開始しました。

営業収益
(百万円)



営業損益
(百万円)



JCSAT-13で、アジア展開を本格化

2012年5月16日(日本時間)、通信衛星「JCSAT-13」の打ち上げに成功しました。これは、東経124度で「スカパー!」サービスを支えている「JCSAT-4A」の後継機であるとともに、継続的な衛星需要の伸びが期待できる東南アジア向けのグローバルビームも搭載しています。



東日本大震災被災地の早期復興を願い、打ち上げロケットの機体に震災復興支援ロゴを掲げました。





新BS放送
7チャンネル新規開局!!

新BSデジタル放送がさらに充実、31チャンネルに

2011年10月に新BSデジタル放送がスタートし、当社はこのタイミングをとらえ、「BSスカパー!」(BS-241ch)を開局しました。「BSスカパー!」では、CS放送の人気番組も含め魅力的なコンテンツを厳選して放送し、「スカパー!e2」や「スカパー!HD」の楽しさを伝え、契約拡大を図っています。

そして2012年3月には、新たに「J SPORTS 3」「J SPORTS 4」「BS釣りビジョン」「IMAGICA BS」「BS日本映画専門チャンネル」

「ディズニー・チャンネル」「Dlife」の7チャンネルを加え、BSデジタル放送は31チャンネルとなりました。

当社は、今後も、「BSスカパー!」(無料キャンペーン実施中)をポータル・チャンネルとして、多チャンネル放送の楽しさをより多くの方々に実感していただき、中期経営計画で掲げているスカパー!サービスへの“加入件数400万件以上”の早期達成を目指していきます。



スカパー!e2も
パワーアップ!!

「スカパー!e2」は、ハイビジョン33チャンネル、 合計68チャンネルへ

新BS放送の開始により空いた帯域を利用して、110度CS放送のラインナップがさらに魅力的になります。

既存チャンネルHD化: 6 チャンネル

7/1スタート



9月1日以降

既存チャンネルHD化: 4 チャンネル

新規チャンネル開局: 2 チャンネル

HD化!!

- スカイ・A sports +
- GAORA
- MTV
- MUSIC ON! TV (エムオン!)

新規開局!!

- 囲碁・将棋チャンネル
- ディズニージュニア

沖縄にカスタマーセンターを開設

2012年4月20日、スカパー!サービスの新たなカスタマーセンターとして「沖縄センター」が業務を開始しました。これまでは横浜センターと札幌センターで新規受付やお問い合わせに対応していましたが、沖縄センターと札幌センターの2拠点体制としました。

拠点を沖縄と北海道に分散したことにより、安全性・信頼性の向上とコスト削減を同時に進めるとともに、拠点間を専用ネットワークで結ぶマルチオペレーションによって、お客様によりご満足いただける円滑なコミュニケーション体制の強化に取り組んでいきます。

お客様との
絆を強化!!





キャンペーン情報!!
楽しさを、もっとみんなに

「アンテナあげます!つけます!キャンペーン」を延長

アンテナ+標準取付工事 無料

BSおよびCSデジタル放送が視聴可能なスカパー!マルチ衛星アンテナ(7,800円相当)と標準取付工事(10,500円相当)を無料でご提供します。

以下全ての条件を満たす個人でご契約のお客様がお申しいただけます。

- ①アンテナ取付完了後3週間以内に新規ご加入いただけるお客様
- ②チャンネルを1年以上ご契約いただけるお客様
- ③110度CSチューナー内蔵機器またはスカパー!HD対応チューナーをお持ちで、南南西方向にアンテナ設置が可能なお客様

キャンペーン期間: 2012年4月1日～2012年9月30日(受付完了分まで)



「どこでもJリーグLIVEキャンペーン」を実施中

スマホ・PC・タブレットでもJ1・J2リーグ戦生中継!

「スカパー!JリーグLIVE」はスマートフォン・パソコン・タブレットで「いつでも・どこでも」Jリーグの試合をライブで視聴可能なサービスです。「途中再生」「追っかけ再生」も可能です。

キャンペーン対象のJリーグセット契約者は、0円/月となる「どこでもJリーグLIVEキャンペーン」を実施中です。

詳しくは、スカパー!オンデマンド公式サイトをご覧ください。

<http://vod.skyperfectv.co.jp/>

キャンペーン期間: Jリーグ2012シーズン(2012年3月1日～2012年12月31日ご契約分)

注意事項: 割引適用には、スカパー!オンデマンドでMyスカパーIDの登録が必要です。

スカパー!
オンデマンド



ご加入に関するお問合せはこちら 受付時間 10:00～20:00(年中無休)



0570-033-668

PHS、IP電話のお客様は
045-330-2333



0570-039-888

PHS、IP電話のお客様は
045-287-7777



防災プラットフォームサービス

EsBird

エスパード



もっと知りたい!!
衛星通信サービス

衛星通信は、有料多チャンネル放送や地上波テレビ局の中継回線として身近な存在となっていますが、防災・危機管理の通信インフラなどにも幅広く利用されています。そこで、普段は目に触れにくいサービスですが、東日本大震災後導入の増えている「EsBird(エスパード)」をご紹介します。

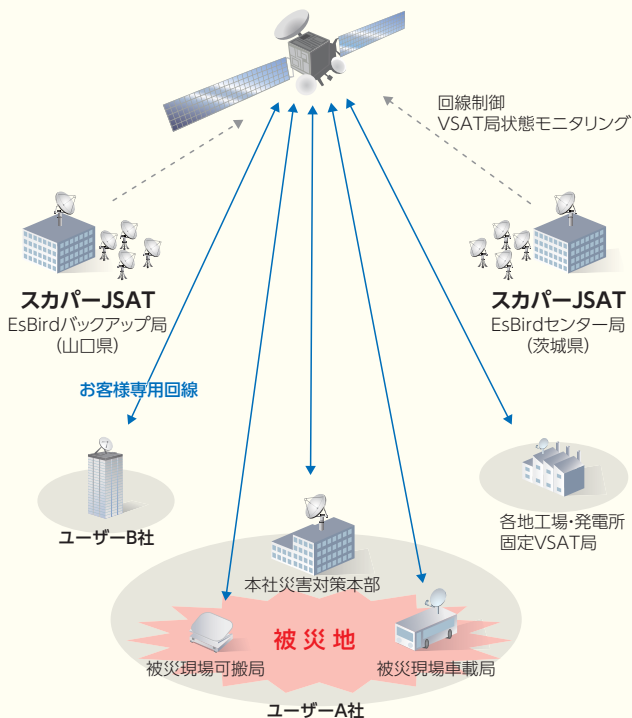
災害時にも万全の専用回線を確保

EsBirdは、災害時にも確実につながるお客様専用の衛星通信回線を提供する防災プラットフォームサービスです。復旧に必要な情報収集や指示、安否確認など適切な対応と被害の拡大防止に貢献します。茨城県(メイン局)と山口県(バックアップ局)の東西に分散配置したセンター局が、お客様の回線ネットワークを24時間体制で監視・制御しているため、万一どちらか一方の局が被災しても回線が途切れる心配はありません。

どこでも素早く回線を構築

山や離島など地上回線が敷設できない地域でも、衛星通信なら回線確保が可能です。さらに車載局や小型地球局*「VSAT」を仮設すれば、送受信設備のない場所でもすぐに回線を構築することができるため、EsBirdは東日本大震災の救助・復旧・復興支援活動においても大きな役割を果たしました。震災後は、事業継続計画(BCP)強化の目的でEsBirdを導入する企業が増えています。

* 地球局: 衛星通信を送受信するアンテナと装置を地上に設置した無線基地局。



連結財務諸表



連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
営業収益	141,068	141,850	155,242
営業原価	86,150	86,028	99,061
営業総利益	54,917	55,822	56,180
販売費及び一般管理費	39,824	42,318	38,694
営業利益	15,093	13,503	17,486
営業外収益	1,431	876	625
営業外費用	3,052	1,985	1,409
経常利益	13,472	12,394	16,702
特別利益	4,756	325	257
特別損失	1,782	2,857	1,062
税金等調整前当期純利益	16,446	9,862	15,897
法人税等合計	2,064	5,457	7,352
少数株主利益又は少数株主損失(△)	158	△16	△24
当期純利益	14,223	4,421	8,569

有料多チャンネル事業における加入者拡大や、宇宙・衛星事業におけるBCP・災害対策向けサービスの需要増等により9.4%の増加となりました。

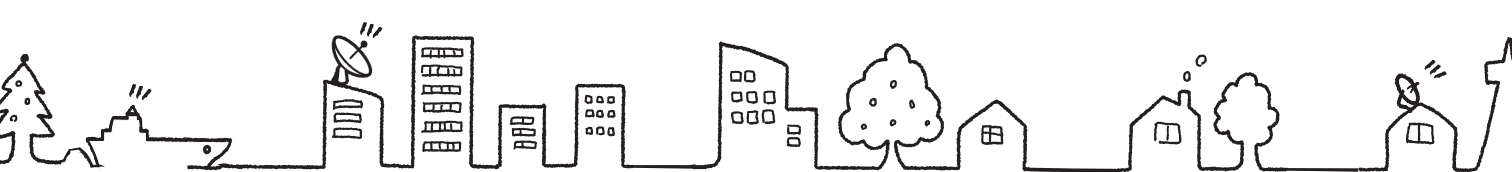
営業利益は過去最高益を更新するとともに、営業利益率も1.8ポイント上昇しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,340	38,956	39,976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,886	△28,595	1,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,835	△17,302	△34,993
現金及び現金同等物の期末残高	66,727	59,499	66,404
有利子負債期末残高	107,510	91,692	62,506
純有利子負債期末残高	40,783	32,192	△3,898

有利子負債期末残高が291億円減少の625億円となった結果、現金及び現金同等物の期末残高664億円を下回り、実質無借金となりました。



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
--	----------	----------	----------

資産の部

流動資産	108,199	109,109	99,606
固定資産	226,964	212,969	200,526
有形固定資産	167,515	165,141	154,088
無形固定資産	17,039	15,227	13,647
投資その他の資産	42,408	32,601	32,790
資産合計	335,163	322,078	300,133

負債の部

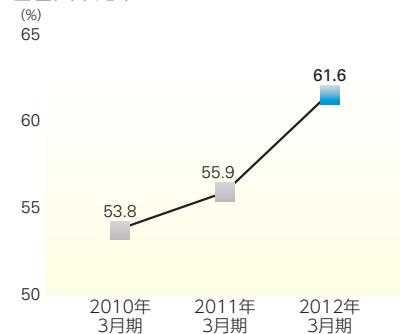
流動負債	46,757	61,675	55,384
固定負債	105,066	80,338	59,696
負債合計	151,823	142,013	115,080

純資産の部

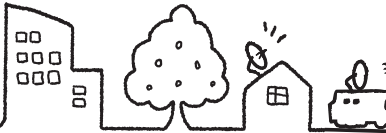
株主資本	181,634	182,016	186,547
資本金	10,000	10,000	10,000
資本剰余金	158,193	158,193	158,193
利益剰余金	17,324	17,707	22,237
自己株式	△3,883	△3,883	△3,883
その他の包括利益累計額	△1,376	△2,122	△1,602
新株予約権	62	62	22
少数株主持分	3,019	108	84
純資産合計	183,339	180,065	185,052
負債純資産合計	335,163	322,078	300,133

借入金返済および利益剰余金の増加により、自己資本比率は5.7ポイント上昇しました。

自己資本比率



株主様アンケート結果のご報告



「第5回株主様アンケート」(ご回答メ切:2012年1月4日)の結果(抜粋)をご報告いたします。頂戴したご意見・ご要望は、今後の経営およびIR活動の参考とさせていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。

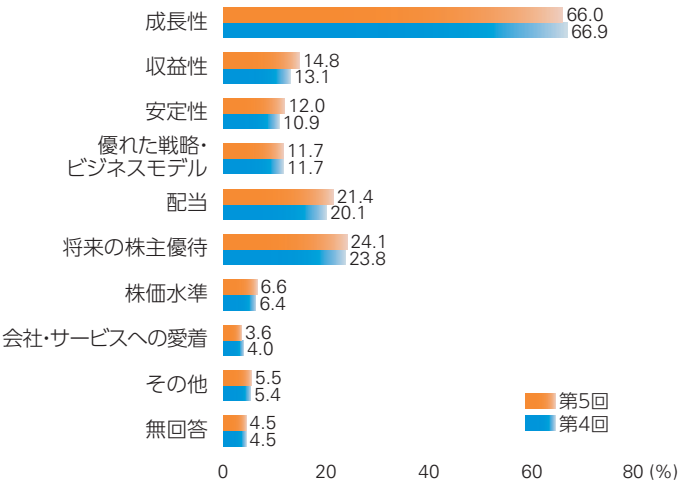
当社株式の購入理由としては、66%(2,799名)の方が「成長性」を挙げています。また、投資スタンスも「継続保有」と回答された方の比率が前年より増加しています。

当社グループは、株主の皆様の期待に応えるべく、成長戦略に軸足を置いた経営を推進してまいります。

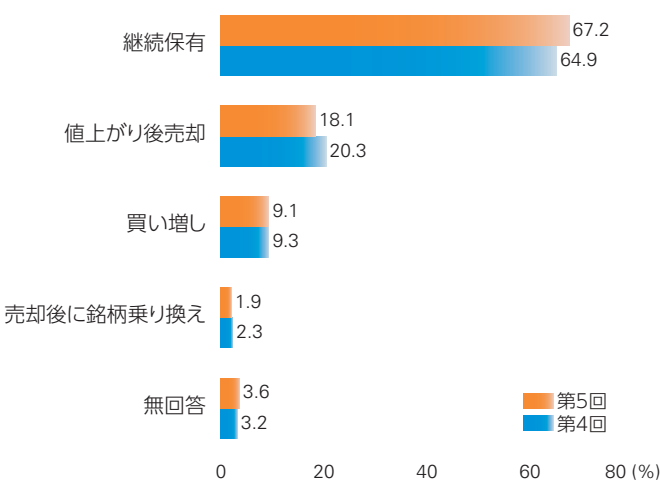
第5回株主様アンケート

送付総数		41,745名
回答者数	Web経由	370名
	はがき経由	3,870名
	計	4,240名
回答率		10.2%

Q1 当社株式の購入理由(複数回答可)



Q2 当社株式に対する今後の投資スタンス(1つのみ)



株主様からの応援メッセージ

「魅力ある番組を作り、加入者を増やしてほしい」「社会的インフラとしての役割を実感。引き続き株式を保有したい」「宇宙・衛星事業の今後の広がりに期待」「長期保有して良かったと思えるような成長を期待」といった声が寄せられました。

会社概要(2012年6月22日現在)

会 社 名	株式会社スカパーJSATホールディングス SKY Perfect JSAT Holdings Inc.
設 立	2007年4月2日
資 本 金	100億円
従業員数	820名(連結)2012年3月31日現在
所 在 地	〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目14番14号
電話番号	03-5571-1500(代表)
U R L	http://www.skyperfectjsat.co.jp/

取締役および監査役

代表取締役会長	西山 茂樹
代表取締役社長	高田 真治
取締役	仁藤 雅夫
取締役	井上 修
取締役	住友 裕郎
取締役	清水 敏邦
取締役(非常勤)	中谷 巖
取締役(非常勤)	森 正勝
取締役(非常勤)	大塚 博正
取締役(非常勤)	飯島 一暢
取締役(非常勤)	小出 寛治
監査役	篠田 文治
監査役	平林 良司
監査役(非常勤)	勝島 敏明
監査役(非常勤)	武田 信二

株式情報(2012年3月31日現在)

発行済株式の総数 3,446,037株

株主数 41,710名

大株主

株主名	持株数	持株比率
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 伊藤忠商事口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	346,572	10.3%
(株)フジ・メディア・ホールディングス	283,058	8.4%
ソニー(株)	283,058	8.4%
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	260,570	7.7%
住友商事(株)	222,584	6.6%
日本テレビ放送網(株)	208,914	6.2%
(株)東京放送ホールディングス	184,340	5.5%
伊藤忠商事(株)	136,058	4.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (中央三井アセット信託銀行再信託分・三井物産(株)退職給付信託口)	134,052	4.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	72,741	2.2%

(注)持株比率は、自己株式80,518株を控除して計算しております。

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日／中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほインベスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座 の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わ せ先・各種手続取扱店をご利用ください。	

免責事項
本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。